

# 令和元年名古屋港の港勢

令和元年（2019年）の名古屋港の港勢は、入港船舶隻数、船舶総トン数ともに前年実績を下回り、総取扱貨物量も前年実績を下回りました。

## 1 入港船舶

入港隻数は32,576隻（前年比2.5%減）、総トン数は2億3,371万トン（同1.6%減）とともに前年実績を下回りました。

### ○ 外航船舶

入港隻数は7,753隻（同3.2%減）、総トン数は1億9,237万トン（同2.8%減）とともに前年実績を下回りました。全体の5割以上を占めるコンテナ船においても、入港隻数は3,993隻（同3.4%減）、総トン数は8,706万トン（同2.9%減）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を下回りました。

### ○ 内航船舶

入港隻数は、24,823隻（同2.3%減）、総トン数が4,135万トン（同3.9%増）と入港隻数は前年実績を下回りましたが、総トン数は前年実績を上回りました。

## 2 海上出入貨物

令和元年の総取扱貨物量は、1億9,444万トン（前年比1.1%減）と前年実績を下回りましたが、平成14年から18年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貨物取扱量については、1億2,638万トン（同2.5%減）と前年実績を下回りましたが、平成12年から20年連続で全国1位になりました。

### ○ 外貨物

輸出貨物量は、5,285万トン（同1.6%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種が上がり、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で輸出全体の7割近くを占めています。国・地域別では1位中国615万トン、2位アメリカ452万トン、3位アラブ首長国410万トン、4位タイ253万トン、5位オーストラリア232万トンです。

輸入貨物量は、7,353万トン（同3.2%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、LNG（液化天然ガス）、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源が上がり、輸入全体の5割以上を占めています。国・地域別では、1位中国1,408万トン、2位オーストラリア1,323万トン、3位アメリカ558万トン、4位カタール463万トン、5位マレーシア393万トンです。

## ○ 内貿貨物

移出貨物量は、3,574 万トン（前年比 1.7%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、揮発油、その他の石油、鉄鋼、重油が占めました。移入貨物量は、3,231 万トン（同 1.6%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、鋼材、化学薬品、揮発油、セメントが占めました。

## ○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,808 万トン（同 2.9%減）、コンテナ個数は 265 万 TEU（同 1.9%減）とともに前年実績を下回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,404 万トン（同 3.2%減）、輸入は 2,405 万トン（同 2.6%減）とともに前年実績を下回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、産業機械、完成自動車、その他化学工業品、ゴム製品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、輸送用容器、電気機械、その他化学工業品が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は、1 位中国 511 万トン、2 位アメリカ 322 万トン、3 位タイ 190 万トン、4 位アラブ首長国 98 万トン、5 位ベトナム 89 万トンです。輸入は、1 位中国 1,050 万トン、2 位ベトナム 156 万トン、3 位台湾 141 万トン、4 位タイ 137 万トン、5 位アメリカ 137 万トンです。